

「鉄筋コンクリート構造計算規準改定 ならびにX形配筋部材設計施工指針」講習会

＜主催＞ 日本建築学会 構造委員会 鉄筋コンクリート構造運営委員会

＜後援予定＞ 建築業協会、全国建設業協会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、
日本建築センター、日本コンクリート工学協会、日本鉄鋼連盟

このたび、鉄筋コンクリート構造計算規準に関して、以下のような改定を行った。

- (1) 使用性、損傷制御性、安全性という3つの性能に関する本規準の立場を示した。
- (2) 二次設計を行う建物の柱と梁のせん断検定では、短期荷重時のせん断力をそのまま使用できるものとした。
- (3) 二次設計を行う建物の柱と梁の付着検定では、短期荷重時の曲げ付着応力度と1988年版の許容付着応力度を使用できるものとした。
- (4) 非耐震部材の定着規定を柱・梁主筋より緩和した。耐震部材の定着規定も単純化するとともに、ディテールにより緩和できるものとした。
- (5) 耐震壁に関する規定を下記のように拡充した。
 - ・袖壁付き柱、腰壁付き梁、側柱のない壁の許容せん断力を算定できるようにした。
 - ・縦横筋比が異なる場合の扱いを示した。
 - ・縦長の開口、複数開口を考慮し得る開口低減率を提案した。
 - ・開口補強筋の算定方法を合理化した。
- (6) 構造設計例を、腰壁付き梁や片側柱付き壁などを有する建物にした。
- (7) 長期荷重時における変形とひび割れに関して、高強度コンクリートへの適用を考慮するとともに、クリープ・収縮による曲率計算式を示した。
- (8) 保有水平耐力の計算、必要保有水平耐力の設定に関して、危険側のモデル化がなされないように、チェックリストと解説を掲載した。

さらに、鉄筋コンクリートX形配筋部材設計施工指針をあらたに作成した。X形配筋はせん断破壊や付着破壊の防止に有効であることは、よく知られている。今回、その短期設計および終局強度設計に利用する部材設計法および施工要領をまとめた。また、その理解を助けるために、原理と特徴、設計例、および施工例を示した。

1. 開催日・定員・会場・申込先・参加費振込方法・振込先

開催地	開催日	定員	会場	申込先	参加費振込方法・振込先
東京	2010年 4月14日(水)	200	建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20)	日本建築学会研究事業グループ 「RC規準講習会」係 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL 03-3456-2057	*銀行振込または現金書留 ・三菱東京UFJ銀行京橋支店 普通預金口座 2318455 社団法人 日本建築学会

2. テキスト 「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」(改定版) B5判 526頁
「鉄筋コンクリートX形配筋部材設計施工指針・同解説」(新刊) B5判 110頁

3. 参加費(テキスト代含む)

- (1) 日本建築学会会員 14,000円 (2) 登録メンバー 15,000円 (3) 後援団体会員 16,000円 (4) 会員外(1,2,3以外) 19,000円

*登録メンバー: 会員外であって本会「能力開発支援制度」に登録された方(詳細は本会ホームページ <http://www.aij.or.jp/jpn/CPD/> をご参照ください)

4. プログラム

時間	10:30~11:00	11:00~11:40	11:40~12:20	12:20~12:40	13:40~14:40	14:40~15:00	15:20~16:20	16:20~17:00
内容	概要	柱梁	定着	スラブ	壁	保有耐力	設計例	X形配筋
講師	北山和宏 (首都大学東京)		後藤康明 (北海道大学)		加藤大介 (新潟大学)		角 彰 (日本建築総合試験所)	

* 講師・時間割りは都合により変更となる場合があります。

5. 申込方法

次頁の「参加申込書」を添えてお申し込みください。電話での申込みは受け付けておりません。

講習会参加申込書

講習会名・会場	RC 規準改定・X 形配筋部材設計施工指針講習会（4 月 14 日（水）・建築会館ホール）			
参加者*1	フリガナ		会員番号	
	氏名			
会員区分*3	<input type="checkbox"/> 日本建築学会会員（個人会員／法人会員・賛助会員*2） <input type="checkbox"/> 登録メンバー <input type="checkbox"/> 後援団体会員（団体名） <input type="checkbox"/> 上記以外			
勤務先名		所属部署		
所在地	〒			
電話		FAX		
E-mail				
参加費	円			
支払方法・ 申込方法*3*4	<input type="checkbox"/> 銀行振込： 指定口座に入金のうえ、申込書（振込銀行欄記入または振込明細書コピー貼付）と参加券送付用封筒（80円切手貼付、宛名記入）を同封し、お申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。 <input type="checkbox"/> 現金書留： 本申込書と参加券送付用封筒（80円切手貼付、宛名記入）を同封し、参加費を添えてお申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。			
振込元銀行 （右欄記入の代わりに、振込明細書コピーを貼付いただいても結構です）	銀行名・支店名	銀行	支店	
	ご依頼者(社)名			
	振込日	年	月	日
	振込金額	円（他と合算送金の場合は、通信欄へ内訳をご記入ください）		
関連催し物のご案内	<input type="checkbox"/> 今後、関連する講習会等催し物の案内を希望しない。 （今後、関連する講習会等催し物のご案内をお送りします。希望されない方は、□に✓を記入してください）			

*1：同一組織での複数名によるお申し込みの際は、参加者全員の①氏名（フリガナ）、②会員番号、③会員区分を通信欄にご記入いただければ、申込書は1枚で結構です。

*2：法人会員・賛助会員は、1口につき1名を会員扱いとします。

*3：該当区分の□に✓を記入してください。

*4：参加費の払い戻しはいたしません。なお、振込手数料等は申込者にてご負担ください。

通信欄